



JITSUBO、Bachem との独占的ライセンス契約を締結

スイス (Bubendorf/Basel) 、日本 (神奈川県横浜市) 2020 年 5 月 8 日同時発表

Bachem Holding AG (SIX: BANB、以下「Bachem」) と JITSUBO 株式会社 (以下「JITSUBO」) は、JITSUBO が保有する Molecular Hiving™ 技術に関し、本日両社間で独占的ライセンス契約を締結したことをお知らせします。このライセンス契約の下、JITSUBO は、Molecular Hiving™ を活用して、特定の製造プロセスを開発し、開発したプロセスを Bachem に移管します。Bachem は商用化に向けて、プロセスの最適化、スケールアップ、生産を行います。対価として、Bachem は JITSUBO に開発費とロイヤルティを支払います。

Molecular Hiving™ を使うことによる Bachem の期待は、製造原価の低減、環境保全、グリーンケミストリー、スケールアップスケールアップの容易さ、高度な工程管理法です。両社は密接な協力関係の下、既に医薬品原薬 (APIs) や化粧品用ペプチドに関する数件のプロジェクトを実施し、JITSUBO の技術は Bachem で有効に活用できることが実証されています。

Dr. Günther Loidl (Bachem Holding AG、最高技術責任者) は、以下のように述べています。

「我々は、JITSUBO の Molecular Hiving™ が、効率、環境保護の面で、大きな優位性を持った技術であることを確信しています。Bachem はすでに、ペプチド化学の固相法、ハイブリッド、液相法の分野で特異な能力を発揮しており、JITSUBO の技術が加わることは、現状の幅広い基盤技術を補完するだけでなく、大いなる強化につながります。我々は、この革新的技術を我々の顧客に提供しうる、唯一の CMO になったことに大きな喜びを感じています。」

金井和昭社長 (JITSUBO 株式会社 代表取締役社長、Ph.D.) は以下のように述べています。

「ペプチド原薬製造のトップ企業である Bachem と、我々の独自技術である Molecular Hiving™ の適用について共同開発を進め、独占的ライセンス契約に至ったことは、この技術を生かした製品を、できるだけ早く、大量に顧客に提供できるようになったという意味で、大変嬉しく思います。我々は、今後も変化する社会の要求にこたえられるよう技術基盤の拡充を目指した開発を進め、この協力関係を通して有意義な製品を顧客、ひいては世界中の患者さんに

提供することにより、我々のビジョンである“Enrich the world with smiles”を実現したいと考えています。」

Bachem について

Bachem グループ はスイスに本社を置く、pepTides(ペプチド) と oligonucleoTides(核酸)の開発・製造に特化したイノベーション志向型の株式公開企業である。Bachem は臨床開発から商用生産に至る製品を提供するだけでなく、充実したカタログ製品の販売とカスタム合成まで手掛け、包括的なサービスを提供している。創業以来 50 年の経験と、スイス、米国、英国、日本に拠点を有しており、Bachem は 世界中のバイオテック、製薬業界にとって最適なパートナーである。

Bachem. Leading Partner in Tides

JITSUBO について

JITSUBO は 2005 年創業の医薬系ベンチャーで、多様なペプチドの合成を安価、高品質、環境保全、容易なスケールアップで可能にする Molecular Hiving™を開発。研究開発型企業として世界中の製薬会社へ受託製造、あるいは他の受託製造企業と協力し、Molecular Hiving™を提供している。

Enrich the world with smiles.

<お問い合わせ先>

Bachem Holding AG

Stephan Schindler, CFO

Tel : +41 58 595 2021

Fax: +41 58 595 2043

ir@bachem.com

www.bachem.com

JITSUBO 株式会社

佐藤 真理江 (広報担当マネージャー)

Tel : 045 633 4327

Fax: 045 633 4329

sato@jitsubo.com

www.jitsubo.com

本資料は、両社同時（日本時間 5 月 8 日午後 1 時）に発表した英語版プレスリリースを翻訳・編集し、配信するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英文プレスリリースが優先します。